

2020 年 11 月 6 日

日本学術会議に関する声明

日本災害医学会理事会

日本災害医学会は 1995 年の阪神淡路大震災を契機に発足し、多くの災害への医学的対応の改善を通じて国民の皆様に貢献してまいりました。

昨今の新型コロナウイルス感染症に関しても、これまでの災害対応経験を活用し、クルーズ船対応、クラスター発生施設への支援等で実効性ある対応を提供しております。

今般、日本学術会議の在り方に関して混乱が発生しております。日本学術会議は、日本の科学者コミュニティを代表する機関として、科学の様々な専門領域を横断的視点からまとめ、わが国における学術の健全な発展に大きく貢献しております。その意義および必要性は非常に高いと考えます。様々な意見を交えながら建設的な議論がなされ、問題の早期解決が図られることを切望します。